

## 中西準子氏がメイン講演

昨年11月8日(日)に、恒例となったホームカミングデー(HCD)が開催されました。今年で4回目となる催しで、年を追うごとに参加者が増え1,000名以上が大学に集いました。

プログラムの目玉となるメイン講演では、本学元教授 中西準子氏(昭和36年応化卒、現:独立行政法人産業技術総合研究所安全科学研究部門長)が「食のリスク、環境のリスク～食の安全が脅かされているというが、それはどの程度か? 食の安全のために、どのくらい温暖化ガスの排出が許されるのだろうか?～」と題して、満員の聴衆に分かりやす

くお話しされ好評を得ました。

一方、メイン講演会場隣の展示会場では、大学院環境情報研究院の各種プロジェクト研究の成果や学府各専攻の研究概要などをまとめたポスターを掲示し、多くの来客者の質問に分かりやすく説明しました。中西先生も熱心にご覧になっていました(右下写真)。環境情報学府には5専攻あり、ここに、環境生命学専攻、環境システム学専攻、情報メディア環境学専攻、環境イノベーションマネジメント専攻、環境リスクマネジメント専攻、の紹介ポスターを掲載いたします。



講演する中西氏



メイン講演が開かれた教育文化ホールは満員御礼

